

農業クラブ全国大会（岩手大会）壮行式にあたって

校長 森 武晴

中間考査が終わって、そして、3年生は、就職試験、受験が終わって、少しゆっくりしている人も多いと思います。しかし、3年生はこれから受験を控えている人もいますし、1、2年生は県の新人戦、総文祭、そして「農業祭」と大きな大会や行事が続いていきます。受験や、これからの一つ一つの大会や行事をとおして、しっかりと学び、成長して欲しいと願っています。

10月12日（土）に行われた島原城大手門市では、「はみだせ島原！」（高校生共創プロジェクト ～よか町島原を守る・繋ぐ・創る～）の活動において、ステージ発表の進行、島農和太鼓部演奏、マルシェ（農産物販売）、Mijoかふえ、アーケードでの学校魅力発信、ふれあい動物園、市民との公開討論フェスト、たくさんの島農生が、それぞれの場面で、頑張ってくれました。大手門市に来られた多くの方々から、また、運営にあたられた方々から、「島農生のあいさつ、笑顔、ふるまい、取り組む姿勢、とても素晴らしい」とたくさんのお褒めの言葉をいただきました。これから先も、活動に参加した生徒ばかりではなく、島農生全員が、元気なあいさつ、笑顔、そして、感謝の気持ちをもって、地域のために、また、あらゆることに取り組んでもらいたいと思います。

さて、ただ今、紹介があった農業鑑定競技、そして、代議員会に参加の皆さんは、長い期間をかけて、農業クラブ全国大会（岩手大会）に向け、毎日、準備を重ね、取り組んできたと思います。いよいよ、これまで努力してきた成果を発揮する時が来ました。

昨年この場で紹介しましたが、過去、農業鑑定競技では、全国大会で、皆さんの先輩が過去4度全国最優秀を受賞されています。日本一を取られた島農の先輩が4人もいらっしゃいます。皆さんもこの先輩方に並ぶことができるよう、大会本番、自分のこれまでやってきたことを信じて競技にのぞんでください。

また、代議員会においては、本校の代表ということはもちろんですが、長崎県連盟、九州連盟の代表として、全国の舞台上、堂々と発表、意見交換をしっかりと行ってきてください。

これまで応援や後押ししてくれた先生方や家族・仲間のためにも、そして、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、大会に臨んでほしいと思います。

島原農業高校は、全国に名の知れた農業高校です。競技、発表はもちろん、素晴らしいあいさつ、笑顔で、全国の舞台において、「島原農業高校、ここにあり」ということを示してきてください。皆さんの健闘、頑張りを期待しています。

令和6年10月（農ク全国大会壮行式にて）